

金沢大学国際基幹教育院  
外国語教育系・外国語教育部門  
**2024 年度活動記録**

## ■事業日誌

|               |                                                                   |
|---------------|-------------------------------------------------------------------|
| 3月24日         | 第111回中国語検定試験                                                      |
| 4月1日          | 初習言語履修相談会                                                         |
| 4月13日         | TOEIC Listening and Reading Test                                  |
| 4月24日・25日     | オルレアン大学フランス文化研修説明会実施                                              |
| 6月            | 金沢大学公開講座「世界の言語で文化と歴史を“読む・語る”」（全4回）                                |
| 7月12日         | FD研究会 Jana Klacanska「ドイツ語授業における教材の工夫—第28回 DaF セミナー参加を通しての考察」      |
| 7月16日         | 錦丘中学校のキャンパスツアー（ドイツ語・フランス語・朝鮮語・中国語の授業見学）                           |
| 7月26日         | FD研究会「EAP 第1回ワークショップ」                                             |
| 7月29日・30日     | ドイツ語圏学習支援活動 João Rocha Neto「世界遺産の街でドイツ語を学ぶ」                       |
| 9月5日・12日      | FD研究会 前田広之・Ross Tulloch「英語読解問題作成セミナー：TOEIC Part 7 で学ぶ問題作成の視点と考え方」 |
| 10月8日         | 金沢大学ボキャブラリーコンテスト 2024                                             |
| 10月15-29日     | FD活動 Open Class Week 2024                                         |
| 11月7日         | 国際部留学企画課企画「フランス留学フェア」への協力                                         |
| 12月1日         | ドイツ語技能検定試験                                                        |
| 12月2日         | FD研究会 中山裕木子「生成 AI とのつきあいかた—これからの英語学習を考える」                         |
| 12月18日・1月22日  | 実用フランス語技能試験（秋季）受験準備支援                                             |
| 1月26日         | 実用フランス語技能検定試験（秋季）2次試験協力                                           |
| 2月10日・12日・18日 | TOEIC Listening and Reading Test                                  |

- 2月13日 FD 研究会「EAP 第2回ワークショップ」
- 2月19日 FD 研究会「新共通教育初習言語カリキュラム施行の1年を振り返る」
- 3月5日 FD 講演会（未来創成教育環主催）保田幸子「英語科学論文の書き方・教え方」
- 3月6日 FD シンポジウム（未来創成教育環主催）門田修平・柴田美紀・David Wei Dai「ソーシャル・エイジェントとしての英語使用者養成：国際共修教室におけるインターアクティブ・コンピテンシーと社会・文化アウェアネス」
- 3月12日 学生のための特別オンラインセミナー（未来創成教育環共催）Tom Gally（東京大学）「生成 AI との対話で人間力を上げる」

## ■FD/SD 講演会

### ■3月5日 FD 講演会 保田幸子「英語科学論文の書き方・教え方」

(参加人数：90名（うちオンライン参加65名）)

未来創成教育環基幹教育イニシアティブ部門学術リテラシー企画部は、未来創成教育環主催、国際基幹教育院共催で講演会を行った。講師として、神戸大学神戸大学大学院国際文化学研究科・国際コミュニケーションセンター教授の保田幸子氏をお招きし、英語科学論文の構成や文体について、**Nature Communication** などに掲載された科学論文を例にご説明頂いた。特に科学論文におけるストーリー展開の大切さや、情報展開の流れの見える化に関しては、イントロダクションやディスカッションの構成を具体的に視覚的に示して頂き、学生に科学論文を教えたり、分析させたりする時に有効な示唆が多くあった。また論文でよく使われる表現や論文執筆の際に参考出来る資料集やウェブサイトをご紹介頂き、生成AIを使って論文執筆する際に参考となる資料や使えるプロンプトに関するお話も頂いた。今回の講演会は、教員が科学論文の書き方を学生や大学院生に教えるにあたって参考となるだけでなく、論文執筆中の大学院生や、大学院進学希望の学生にとってもわかりやすい内容となったと思われ、多様な参加者にとって有益だったと思われる。講演後の質疑応答や交換会では保田先生の知見に基づく様々な具体例に関して更にご説明頂き、活発な議論もできた。(大藪加奈)



### ■3月6日 FD シンポジウム 門田修平・柴田美紀・David Wei Dai「ソーシャル・エイジェントとしての英語使用者養成：国際共修教室におけるインターアクティブ・コンピテンシーと社会・文化アウェアネス」

(参加人数：39名（うちオンライン参加24名）)

未来創成教育環が主催し、国際基幹教育院およびソーシャルインパクト創出支援委員会（仮称）が共催のシンポジウムを開催した。まずはじめに「社会脳インターアクションを活かした英語の学習・教育」をはじめ多くのご著書を執筆されている関西学院大学名誉教授の門田修平先生にお話し頂いた。英語コミュニケーションのためには、言語的な知識やスキルだけでなく、脳の中の感情をつかさどる部分や社会的なやり取りに関連する部分を刺激し、いわゆる「社会脳」、「感情脳」を用いてコミュニケーション能力を高めることでコミュニケーション能力が向上する、というお話からは、自信を持って英語を使い、ソーシャル・エイジェントとして社会に貢献できる人材を育てるためのヒントを多く得られた。次に、広島大学の柴田美紀先生より「多言語・多文化環境における協働学習の課題」と

題して、広島大学総合科学部国際共創学科の事例をご報告頂いた。国際共修・多文化共修クラスは提供すればそれで学生が自動的に英語が堪能になるわけではないこと、クラス内の階層化などの問題が生まれることなど、実際に国際共修プログラムを運営してこられた柴田氏による先行事例報告や英語媒体クラスに関する研究の報告は、私たちがどのように国際共修教育を展開してゆけば良いのか、考える参考となった。3人目の登壇者は、イギリスより、University College London の David Wei Dai 博士にオンラインでご参加頂いた。Dai 博士は、多文化環境で働く人の英語コミュニケーションを高めるための対話能力の養成について、患者と医師の文化背景が違うときにそれぞれがどのように相手の言葉を受け取り、その言葉からどのような価値判断をくだしているかを示したビデオ・モデルと文字おこしされたことばの分析にもとづいて、言語使用者の先入観や文化背景に基づく思い込みの過程などを意識することで、文化の違う話者とのやりとりを成功させる方策に関してお話頂いた。その後のパネルディスカッションや意見交換会においては、英語でやりとりを行うときの文化的なコミュニケーションスタイルの取捨選択やネゴシエーション、そして国際共修クラスで起こりうる具体的な問題について、更に質問したり議論することができた。(大藪加奈)

未来創成教育環シンポジウム

ソーシャル・エイジェントとしての英語使用者養成:  
国際共修教室における  
インターアクティブ・コンピテンシーと  
社会・文化アウェアネス

16:00 開会挨拶  
16:05 趣旨説明

16:10 「社会脳」インタラクションを活かした英語コミュニケーション  
門田修平 (関西学院大学名誉教授)

16:40 広島大学国際共修コース事例紹介  
柴田美紀 (広島大学教授)

17:10 Interactional/Intercultural competency  
for multicultural workplace  
David Wei Dai  
(University College London 講師)

17:40 Discussion  
閉会の挨拶

開催日時: 令和7年3月6日(木) 16:00~18:00  
開催場所: 総合教育講義棟 A1講義室 参加費: 無料  
対象: どなたでも (主に教員)

オンライン参加も可 こちらから  
Zoom会議室  
ミーティング ID: 895 3072 6810  
パスコード: 331802

主催: 金沢大学未来創成教育環  
共催: 国際基幹教育院・ソーシャル・インパクト創出支援委員会 (仮称)



## ■FD 研究会

### ■7月12日 Jana Klacanska「ドイツ語授業における教材の工夫―第28回 DaF セミナー参加を通しての考察」

(参加人数：6名)

初習言語教育企画部主催の第1回FD研究会として、ドイツ語の授業を担当されているクラチャンスカ・ヤナ先生が上記の演題で発表した。最初に、2024年3月11日から13日に参加した「第28回ドイツ語教育研究ゼミナール」（総合テーマ：ドイツ語の授業における教科書の役割―学習理論的、そして方法論的・教育学的な原則についての考察と、その教科書による、また教科書によらない実践）の概要と、そこで行われたワークショップについての説明があった。そのなかではまず、招待講師であるビーレフェルト大学の Claudia Riemer 教授の講演において示された中心的な指導4原則「学習志向 (Lernedorientierung)」「活動志向 (Handlungsorientierung)」「タスク志向 (Aufgabenorientierung)」「多言語志向 (Mehrsprachigkeitsorientierung)」や、授業における教科書のアドプシンの重要性などが紹介された。また、教材開発ワークショップの事例が示され、授業に活用できる情報ツールなどについても言及があった。続いて、「第28回ドイツ語教育研究ゼミナール」での経験を現在授業でどのように活用しているかの説明があった。小規模人数での開催となったが、その後も質疑・応答の時間を通して非常に活発な議論が交わされ、各参加者が自身の授業にこの度の知見をどのように取り入れることができるかを考える大変良い機会となった。(飯倉江里衣)



### ■7月26日 「EAP 第1回ワークショップ」

(参加人数：10名)

EAP 教育企画部主催の第1回ワークショップを開催し、2024年度より改編された新カリキュラムに関する議論を行った。まず、新しく導入された自学自習プログラムである Vocabulary Program と Critical Thinking Program について、そして EAP I と EAP II に関して、Q1 と Q2 に授業を担当した教員からのフィードバックを受け、今後の改善の可能性について話し合った。また、それぞれの教員が授業で行ったアクティビティの共有もすることができた。その後、EAP III のコースヘッドを務める Jacob Runner 先生より、新しい授業内容に関する案内があり、質疑を受け付けた。学外から3名の参加者があり、1時間ほどの限られた時間であったものの、活発な議論ができ、今後のカリキュラム改善に関する有益な知見を得ることができた。(菅野磨美)

■9月5日・12日 前田広之・Ross Tulloch「英語読解問題作成セミナー：TOEIC Part 7で学ぶ問題作成の視点と考え方」

(参加人数：11名)

昨年度までの語彙問題作成セミナーに代わり、本年度はTOEIC Listening & Reading Test（以下TOEIC）Part 7を題材にした読解問題作成セミナーを実施した。講師にはTOEIC指導、TOEIC指導者・問題作成者養成のスペシャリスト前田広之（ヒロ前田）氏と、数多くのTOEIC教材の問題作成で定評のあるロス・タロック氏を迎え、2回にわたって実施した。9月5日の第1回ではTOEIC Part 7で使われる文書の種類、文書の作り方のアイデア、出題される設問のタイプ、良問・悪問を見分ける視点について解説があった。9月12日の第2回では、参加者から提出された問題のエラー発見と問題作成の課題について講評と解説が行われ、その後、設問の選択肢作成についての解説があった。講師からは参加者ひとりひとりに提出物の添削が返却され、各参加者の理解を深めるのに大いに役立った。（西嶋愉一）

■10月15日～29日 Open Class Week 2024

GS教育系との共催で、Open Class Week 2024を開催した。GS教育系および外国語教育系で55の授業が公開され、各教員の授業実践法が共有された。外国語教育系では、ほぼ全員の教員が、初習言語科目、Practical English、EAPの授業を公開し、意見交換がなされ、教育の質の向上と教員同士の連携が強化する有益な取り組みとなった。（菅野磨美）

■12月2日 中山裕木子「生成AIとのつきあいかた—これからの英語学習を考える」

(参加人数：40名)

外国語教育系FD/SD講演会・第3回国際基幹教育院FD研修会として、昨年度に引き続き、株式会社ユー・イングリッシュ代表取締役の中山裕木子氏を招き、生成AIと学術リテラシー教育に関してオンラインでご講演いただいた。講演は3部構成からなり、各セッション後、質疑応答の機会が設けられ、外国語教育系の教員を中心に活発な意見交換が行われた。

第1部では「非ネイティブが目指すべき『伝わる英語』」について、中山氏が提唱する「やさしい英語」の8つのコツを踏まえた上で、生成AIや自動翻訳をどのように活用できるか詳しく解説していただいた。第2部「時代のツールの活用方法」では、生成AIや自動翻訳の英語授業での導入の仕方について、中山氏ご自身の授業での実践方法を共有していただいた。第3部「ChatGPTの使いこなし」では、学生だけでなく、教員が生成AIを教育や研究でどのように使いこなすことができるかについてご説明いただいた。

昨今の目覚ましい技術発展により、大学教育における生成AIなどのテクノロジーとの付き合い方に関する議論は急務の課題である。学生に使い方を教えるには、まず教員が使いこなすことが必要であり、中山氏のような専門家から知見を共有していただけたことは、今後のカリキュラム改善を目指す教員にとって大変有益な機会となった。（菅野磨美）

## ■2月13日 「EAP 第2回ワークショップ」

(参加人数：15名)

The second EAP workshop of the year, organized by the EAP Course Management Committee, had two areas of focus. In the first half of the workshop, the focus was on discussion of the new 2024 EAP courses. Participants provided feedback on the courses and gave a number of ideas for how the courses could be improved as well as suggestions regarding the implementation and management of the courses. The second half of the workshop concentrated on plans for the 2025 EAP courses. Dale Brown first gave an explanation concerning general matters, then Jacob Runner introduced changes to the EAP I and EAP III courses, Kana Oyabu described the EAP II course and Eisuke Kawada explained the EAP IV course. There was then an opportunity for questions and comments from participants. (Dale Brown)

## ■2月19日 「新共通教育初習言語カリキュラム施行の1年を振り返る」

(参加人数：9名)

上記タイトルで初習言語教育企画部主催の第2回FD研究会を実施した。本研究会では、2025年1月最終週に初習言語教育企画部で実施した教員アンケートおよび学生アンケートの結果を紹介しながら、「1. 教員の視点から」、「2. 学生の視点から」、「3. ディスカッション」の3つのプログラムで進化した。「1. 教員の視点から」では、初習言語教育企画部を代表して佐藤朋子教育企画部長より、上記教員アンケートの結果が示された。また、ドイツ語、中国語、フランス語、朝鮮語の各コーディネーター教員より、1年を振り返るなかでの事例等の報告が行われた。「2. 学生の視点から」では、同じく佐藤教員より、上記学生アンケートの結果が示された。「3. ディスカッション」では、小熊猛系長をはじめ参加者から、様々な感想・質問および貴重な提案等を得られ、全体で活発な議論が交わされた。議論を通じて、大学における英語教育と初習言語教育の相違点や共通点も浮き彫りになり、今後の初習言語教育のさらなる改善に向けての多くのヒントを得る貴重な時間となった。(飯倉江里衣)





## ■学習支援事業

### ■総合教育部関係

2024年度は、外国語教育系より以下の教員が総合教育部の担任を担当した。

河田英介： 大学・社会生活論（文系）コーディネーター

Jacob Runner： 「アカデミックスキル」「プレゼン・ディベート論」（文系）コーディネーター

山村公恵： 「アカデミックスキル」「プレゼン・ディベート論」（理系）コーディネーター

趙菁： 担任交代による第4Qのみ担任（文系1クラス）を担当した。

河田教員が総合教育部の紹介動画の作成に貢献した。また、山村教員が次年度用「アカデミックスキル」科目の教材作成に尽力した。（趙菁）

### ■金沢大学ボキャブラリーコンテスト 2024

10月8日、総合教育棟A1教室にて「金沢大学ボキャブラリーコンテスト」（主催：国際基幹教育院、未来創成教育環、共催：附属図書館）が開催された。このコンテストは金沢大学学士課程に在籍する学生を対象に行われており、今回で3回目の開催となる。今年は、幅広い学年・学類から86名の学生が参加した。

コンテスト終了後には、成績上位9名が表彰され、さらに、抽選で40名に特別参加賞、参加者全員にプチ参加賞が授与された。（家口美智子）



## ■「多層型日米連携協働教育プログラムによる次世代グローバル人材育成」

5月15日、コロラド大学コロラドスプリングス校の留学生に Mark Hammond が講義を行った。

## ■未来創成教育環学生のための特別オンラインセミナー Tom Gally（東京大学）「生成 AI との対話で人間力を上げる」

（参加人数：59名）

3月12日、附属図書館ライティングセンター&ラーニングサポートは、東京大学で長年にわたり外国語教育の推進に携わってこられたトム・ガリー先生を講師としてお招きし、金沢大学の学類生・大学院生・留学生を対象とした特別オンラインセミナー「生成 AI との対話で人間力を上げる！」を開催した（主催：附属図書館ライティングセンター&ラーニングサポート、共催：未来創成教育環）。

大学の授業課題では、ChatGPTのような大規模言語モデル（LLM）の生成 AI の利用に制約が課せられていることが多いが、実社会では語学学習、資料作成、文章校正など幅広い用途で使われ始めている。セミナーは ChatGPT の使用にとどまらない LLM との「対話」を通して「人間力」をアップするコツをご講演いただいた。（山村公恵）



## ■ドイツ語留学支援活動（カフェ・クラッチ）

ドイツ語会話交流会「カフェ・クラッチ」を定期的に開催した。カフェ・クラッチは、留学支援活動として人文学類欧米文化学プログラム（独語学独文学）との共催で、ドイツ語圏から金沢大学に留学している学生と本学の留学希望の学生のために、隔週水曜日3限に開催している。2024年度は外国語教育系からはクラチャンスカ教員が前期まで、後期から Konstantin Plett 教員がカフェ・クラッチの運営に協力した。ドイツ語圏への留学を希望する学生やドイツ語圏からの留学生と知り合う場として、本学の学生からは好評であり、今後もこの活動の支援を続けていきたい。（早川文人）

#### ■ドイツ語圏学習支援活動（招待講演）

João Rocha Neto 講師（レーゲンスブルク大学）をお招きし、7月29日人社棟で、7月30日に総合教育棟で「世界遺産の街でドイツ語を学ぶ」と銘打ったドイツ語学習とドイツ留学に関する講演会を開催した。ドイツ語圏への短期研修の参加や派遣留学を考えている学生が参加した。29日の参加者は10名、30日の参加者は18名だった。（早川文人）

#### ■短期海外研修【ドイツ語サマーコース】

8月23日から9月20日にかけて、人間社会学域の科目「異文化体験実習Ⅰ（ドイツ）」および共通教育科目「異文化体験～レーゲンスブルク大学・デュッセルドルフ大学ドイツ語サマーコース」の枠組みで海外体験実習が実施された。人社学域、理工学域の2年生から4年生まで計15名の受講者が参加した。プログラムの実施に向けて全4回のガイダンスを実施し、参加者の募集を行った。参加者には月一回の事前の全体学習や事後の体験報告会、文集の作成などを実施した。ドイツでは、早川教員は、デュッセルドルフでのプログラムを担当し、参加者の学生の帰国便の引率を実施した。（早川文人）

#### ■短期海外研修【フランス文化研修】説明会

人間社会学域の科目「異文化体験実習Ⅰ（フランス）」および共通教育科目「異文化体験～現代ヨーロッパ文化研修～」の枠組みで企画された海外体験実習についての説明会を2024年4月24日および25日に開催し、人社学域および理工学域から9名が参加した。（佐藤朋子）

#### ■国際部留学企画課企画「フランス留学フェア」への協力

2024年11月7日に国際部留学企画課の主催で本学学生を対象とした「フランス留学フェア」がオンラインで開催された。外国語教育系からは教員1名が参加し、本学主催の短期海外研修（オルレアン）および大学を通じて参加を申し込む外部研修プログラム（キャンパス・フランス提供）について説明を行った。（佐藤朋子）

## ■検定試験関連事業

### ■TOEIC Listening and Reading Test

4月 TOEIC Listening and Reading Test は、2024 年 4 月 13 日（土）に対面で実施した。総合教育部の 1 年生 137 名が受験した。

2月 TOEIC Listening and Reading Test は、2025 年 2 月 10 日（月）、12 日（水）、18 日（火）に対面で実施した。全学の 1 年生 1,784 名が受験した。

### ■中国語検定試験

2024 年 3 月 24 日(日)に第 111 回中国語技能検定試験が金沢大学総合教育棟で学外の受験者も受け入れて実施された。今回の実施は金沢大学が一般会場として運営した 2 回目であった。受験者総数は 99 名で各級の受験者数は次の通りである。

|     | 準 4 級 | 4 級 | 3 級 | 2 級 | 準 1 級 | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-------|----|
| 験者数 | 12    | 39  | 33  | 14  | 1     | 99 |

会場責任者は趙菁教員が務め、他大学ではあるが中検の一般開放試験の経験が豊富な二ノ宮教員(北陸大学)の協力を得ながら、円滑に運営を進められた。また人文学類上田教員、加納教員には当日の監督業務にご協力頂いた。(趙菁)

### ■実用フランス語技能検定試験と受験準備支援

2024 年度、実用フランス語技能検定試験は例年通り 2 回開催された。春季は 2024 年 6 月 16 日（1 級、2 級、準 2 級の 1 次試験合格者を対象とする 2 次試験は 7 月 21 日）、秋季は 11 月 17 日（準 1 級、2 級、準 2 級の 1 次試験合格者を対象とする 2 次試験は 2025 年 1 月 26 日）に実施された。外国語教育系からは教員 1 名が秋季 2 次試験の運営に協力した。試験に先立ち、2 次試験受験支援を実施した。

本学からの実質受験者数と合格者数（括弧内）

|    | 1 級  | 準 1 級 | 2 級   | 準 2 級 | 3 級   | 4 級   | 5 級   | 合計     |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 春季 | 0    | 実施なし  | 1 (0) | 5 (2) | 5 (3) | 4 (1) | 1 (1) | 16 (7) |
| 秋季 | 実施なし | 1 (0) | 3 (1) | 1 (1) | 2 (2) | 5 (3) | 0     | 12 (7) |

(佐藤朋子)

### ■冬季ドイツ語技能検定試験

冬季ドイツ語技能検定試験は、2024 年 12 月 1 日、本学角間キャンパス総合教育講義棟で開催された。なおこの冬季試験については、金沢大学角間キャンパス総合教育棟が北陸三県で唯一の実施会場であるため実施する意義は大きく、系外教員の協力を仰ぎながら今後も続けていきたい。

会場責任者：早川文人（外国語教育系） 監督者：佐藤文彦（GS 教育系）、Timo Thelen（国際学類）、大津真実（国際学類）、試験監督補助（半日）：Konstantin Plett（外国語教育系）受験者数は以下の通り。（本学学生以外も含む。）

| 1 級 | 準 1 級 | 2 級  | 3 級  | 4 級 | 5 級 | 合計   |
|-----|-------|------|------|-----|-----|------|
| 3 名 | 5 名   | 16 名 | 22 名 | 7 名 | 3 名 | 36 名 |

（早川文人）

## ■外国語教育系教員動向

### ■科学研究費補助金

|              |         |                                                                                                                                                           |           |          |
|--------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|
| 趙 菁          | 基盤(C)代表 | 近世期日本の養生書における翻刻・解題の再検討と新たな翻刻の作成に関する研究                                                                                                                     | 2024-2028 | 3,120 千円 |
| 澤田茂保         | 基盤(C)代表 | 話しことばの文法における言語的な反応形式について一応答の研究一                                                                                                                           | 2024-2026 | 910 千円   |
| Dale Brown   | 基盤(C)代表 | The influence of general English proficiency and attitudes/orientation towards English on the development of productive knowledge of English collocations | 2024-2026 | 1,690 千円 |
| 早川文人         | 基盤(C)代表 | オーストリア・ファシズムにおける政治的群集祝祭劇とラジオ放送に関する研究                                                                                                                      | 2023-2026 | 4,290 千円 |
| Mark Hammond | 基盤(C)代表 | Linguistic Register Analysis of Procedural Monologues in YouTube Videos                                                                                   | 2023-2025 | 390 千円   |
| 大藪加奈         | 基盤(C)代表 | YA テキストにおける摂食障害の表象：フィクション・ノンフィクションと読者の関係                                                                                                                  | 2022-2025 | 1,820 千円 |
| 数見由紀子        | 基盤(C)代表 | 「最小構造」を活用した英語構文の体系化と教授法の開発                                                                                                                                | 2022-2024 | 390 千円   |
| 小熊猛          | 基盤(C)代表 | 発話参与者標示及び空間直示指示と概念化様式の英韓日対照研究                                                                                                                             | 2022-2024 | 4,160 千円 |
| 家口美智子        | 基盤(C)代表 | 未来・認識を表す準助動詞の主語の通時的発達                                                                                                                                     | 2022-2024 | 1,560 千円 |
| 橋本将          | 基盤(C)代表 | 名詞句の（連想）複数性の研究：統語と意味の観点から                                                                                                                                 | 2020-2024 | 910 千円   |
| 佐藤朋子         | 基盤(C)代表 | 20 世紀後半フランスのフロイト派における構造概念の用法と応用精神分析の展開の解明                                                                                                                 | 2020-2024 | 4,420 千円 |
| 山村公恵         | 基盤(C)代表 | 「分散した」言語現象としての科学英語論文に備える執筆教育プログラム構築                                                                                                                       | 2020-2024 | 1,690 千円 |

|              |      |                                                                                             |           |          |
|--------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|
| Jacob Runner | 若手研究 | Language Ideologies and Spiritual Identity: Comparative Perspectives from the Vercelli Book | 2023-2025 | 1,170 千円 |
| 菅野磨美         | 若手研究 | 中世後期イングランドにおける地方での聖人崇敬に関する写本研究                                                              | 2019-2024 | 4,290 千円 |

#### ■競争的資金・寄付金

|      |                                                  |                                                               |           |        |
|------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------|--------|
| 山村公恵 | 第 40 回研究者<br>海外派遣援助<br>公益財団法人村<br>田学術振興・教<br>育財団 | The assemblage of EFL researchers' social practice in English | 2024-2024 | 200 千円 |
|------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------|--------|

#### ■教員の離着任

着任 飯倉江里衣（4 月着任）  
Konstantin Frederic Plett（10 月着任）  
井上尚子（12 月着任）

離任 Malainine Ebnou（9 月離任）  
Jana Klacanska（9 月離任）  
澤田茂保（3 月離任）  
家口美智子（3 月離任）  
大藪加奈（3 月離任）

## ■社会貢献事業

### ■金沢大学公開講座「世界の言語で文化と歴史を“読む・語る”」(全4回)

|     |       |                                                      |      |
|-----|-------|------------------------------------------------------|------|
| 第1回 | 6月6日  | 英語史から見えてくる英文法                                        | 小熊猛  |
| 第2回 | 6月13日 | シェイクスピア劇を演じてみよう                                      | 大藪加奈 |
| 第3回 | 6月20日 | 日英語を対照して考える異文化理解                                     | 小熊猛  |
| 第4回 | 6月27日 | ミッドセンチュリー・アメリカ文学から学ぶ <b>HAIKU</b> :<br>理論的読解からの英語俳句会 | 河田英介 |

毎年リピーターも多く好評の公開講座「各国シリーズ」を今年は「英語編」として開講した。まず小熊が英語史の観点からことばがどのように変遷してきたかについての講義を行い、それを受けて大藪がシェイクスピア劇でよく知られた表現や、シェイクスピアのリハーサル方法を応用した演劇グループワークを行った。更に小熊が日本語と英語に現れる文化の違いや表現の違いについて講義を行い、河田が **HAIKU** (英語による俳句) つまり非常に短い英語の詩の創作実践活動を組み込んだ授業を行った。10代の高校生から、80代のシニアの方まで、幅広い年代の受講者が参加し、実践活動やディスカッションで多様な考え方や感じ方が共有できた。。受講者 13 名。(大藪加奈)

### ■金沢大学・Education in Ireland 主催の「第1回エデュケーション・イン・アイルランド杯 英語スピーチコンテスト」

6月23日にアイルランド駐日大使と学長の出席のもと、英語スピーチコンテストが角間キャンパスで開催された。大藪加奈教員が高校生部門の審査員の一人を務めた。

### ■金沢大学 STELLA・グローバルサイエンスキャンパス (GSC) プログラム

9月7日・9月23日・10月29に実施された STELLA・グローバルサイエンスキャンパス (GSC) プログラムの英語講師を Mark Hammond 教員が担当した。

### ■スピーチコンテスト審査員 (石川県高等学校文化連盟英語部)

第19回高文連英語部英語スピーチコンテスト (8月18日於 石川県文教会館) の審査員の一人を小熊猛教員が担当した。

### ■スピーチコンテスト審査員 (金沢市中学校文化連盟英語部)

第51回英語金沢市中学校文化連盟英語部スピーチコンテスト (10月5日於 金沢市教育プラザ富樫) の審査員を Jacob Runner 教員が担当した。



#### ■スピーチコンテスト審査員(全国英語教育研究団体連合会)

第 17 回全国高等学校英語スピーチコンテスト東海北陸ブロック大会（11 月 23 日於 金沢市文教会館）の審査員の一人を大藪加奈教員が担当した。

#### ■第 3 回ミライシコウ金沢（高校生探究成果発表会・高校生国際会議）

3 月 15 日金沢大学角間キャンパス自然科学大講義棟で、石川県内外からそして海外の高校生がおおよそ 300 人集まって、それぞれが取り組んだ研究プロジェクトの研究成果発表会、ディス カッションが行われた。Mark Hammond 教員は助言者の一人を務め、講評を行った。

#### ■来訪者

3 月 14 日教養教育英語科目改革に関する調査のため信州大学より来訪者があった。

## ■外国語教育系・部門

外国語教育系長 小熊猛

外国語教育部門長 早川文人

外国語教育部門（20 名）  
◎長、（オ）＝オブザーバー

| 外国教育部門内委員              |                                            |
|------------------------|--------------------------------------------|
| 英語科目統括                 | 大藪                                         |
| LMS・オンライン教材開発          | 大藪、Hammond                                 |
| 英語科目開講計画策定委員会          | 数見、橋本（PrE）、澤田、Brown（EAP）、山村（Academic Lit.） |
| 外部試験 WG                | 家口、西嶋、Hammond                              |
| 初習言語科目統括               | 佐藤                                         |
|                        |                                            |
| EAP 教育企画部              | ◎ Brown、家口、大藪、菅野、Runner、河田、Ebnou、山村（オ）     |
| EAP I コースヘッド           | 菅野                                         |
| EAP II コースヘッド          | 大藪                                         |
| EAP III コースヘッド         | Runner                                     |
| EAP IV コースヘッド          | 家口                                         |
| EAP Retake             | 家口                                         |
| シラバス                   | Brown                                      |
| 教育マニュアル                | Runner                                     |
| リーフレット                 | 河田                                         |
| 共同研究統括                 | Brown                                      |
| 非常勤人事・成績管理・成績疑義・全体連絡   | Brown                                      |
| EAP ボキャブラリー・プログラム      | Hammond                                    |
| EAP クリティカル・シンキング・プログラム | 大藪                                         |

| 国際試験教育企画部 (Practical English) |  | ◎数見、澤田、西嶋、小熊、橋本、Hammond |
|-------------------------------|--|-------------------------|
| Practical English I コースヘッド    |  | Hammond                 |
| Practical English II コースヘッド   |  | 西嶋                      |
| Practical English III コースヘッド  |  | 澤田                      |
| Practical English IV コースヘッド   |  | 橋本                      |
| 非正規授業管理(サポートクラス他)             |  | 数見(サポートクラス)、西嶋・澤田(演習)   |
| Course communicator           |  | Hammond                 |
| TOEIC-IP                      |  | 数見(4月)、橋本・小熊(2月)        |
| 期末テスト                         |  | 数見、西嶋、橋本                |
| シラバス・インストラクターガイダンス資料          |  | 数見、Hammond              |
| WebClass(LMS) 管理・問題作成         |  | Hammond、西嶋              |
| 教務データ分析・管理                    |  | 澤田、橋本                   |
| 共同研究統括                        |  | 数見、澤田                   |
| 非常勤人事                         |  | 数見、小熊、橋本                |
| 成績管理・成績疑義                     |  | 数見、西嶋、橋本                |

| 初習言語教育企画部           |  | ◎佐藤、趙、早川、飯倉、Klacanska、Plett |
|---------------------|--|-----------------------------|
| 仏語コーディネーター          |  | 佐藤                          |
| 独語コーディネーター          |  | 早川、Klacanska、Plett          |
| 中国語コーディネーター         |  | 趙                           |
| 朝鮮語コーディネーター         |  | 飯倉                          |
| 西語コーディネーター          |  | 飯倉、趙                        |
| 語学研修関係(研修事前・事後指導ほか) |  | 佐藤、早川、趙                     |
| 科目等履修生関連(高校生受け入れ)   |  | 趙、早川、佐藤、飯倉                  |
| 初習言語ガイドブック          |  | 趙、飯倉                        |
| 検定試験関係              |  | 趙、早川、佐藤、飯倉                  |
| シティカレッジ科目提供         |  | 佐藤                          |

| 未来創生成教育環境教育企画部    |  | ◎大藪、山村、Runner、Brown |
|-------------------|--|---------------------|
| 英語学術リテラシーコーディネーター |  | 大藪、山村               |
| 科目開発・教材等作成委員会     |  | 大藪、山村、Runner、家口     |

#### 外国語教育部門内委員会

|            |                         |
|------------|-------------------------|
| 予算委員会      | ◎西嶋、佐藤、家口               |
| FD 委員会     | ◎菅野、西嶋、飯倉、河田            |
| 広報委員会      | ◎Brown、大藪               |
| 学習支援委員会    | ◎澤田、西嶋、家口、Klacanska     |
| 教員支援       | Hammond、早川、西嶋、Klacanska |
| ボキャコン実行委員会 | ◎家口、西嶋、山村               |

#### 外国語教育系内委員会

|             |                   |
|-------------|-------------------|
| 人事委員会       | ◎小熊、大藪、澤田、數見、橋本、趙 |
| 教員評価に関する WG | ◎數見、趙、小熊          |
| 研究推進委員会     | ◎佐藤、飯倉、菅野         |
| 研究紀要委員会     | ◎菅野、橋本、Runner、飯倉  |

#### 国際基幹教育院内委員会

|                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 代議員会                  | 小熊、早川、數見     |
| 予算委員会                 | 小熊、早川        |
| FD 委員会                | 菅野、西嶋、早川、河田  |
| 施設利用委員会               | 小熊、西嶋        |
| 「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員 | 澤田、菅野        |
| 総合教育部担任               | Runner、河田、山村 |
| 総合教育部各コーディネーター        | Runner、河田、山村 |
| 総合教育部学務委員会            | 趙            |

#### 基幹会議（外国語教育系・部門からの選出委員）

|        |    |
|--------|----|
| 国際企画会議 | 早川 |
| 教育企画会議 | 小熊 |

### 全学委員会等（外国語教育系・部門からの選出委員）

|                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| 基幹教育管理運営委員会                           | 小熊          |
| 在外高校生対象の英語による学士課程入試に関する検討部会(教育部会)     | 早川          |
| 多文化共修部会                               | 早川          |
| 教育企画会議の下に置く専門委員会(キャリア形成支援委員会)         | 趙           |
| 教育企画会議の下に置く専門委員会(障がい学生支援委員会)          | 澤田、趙        |
| 共通教育委員会                               | 早川          |
| （共通教育）教務・学生委員会                        | 早川          |
| 英語・初習言語科目企画部会                         | 早川、數見、Brown |
| 初習言語科目カリキュラム連絡会                       | 早川、佐藤、趙     |
| 未来教育創成環運営委員会                          | 大藪          |
| 未来教育創成環運営委員会 学術リテラシー教育企画部長            | 大藪          |
| 未来教育創成環 学術リテラシー教育 WG                  | 大藪、Brown、山村 |
| 図書館委員会                                | 大藪（図書館副館長）  |
| ライティングセンター運営部会                        | 山村、Brown    |
| 全学教員評価委員会                             | 小熊          |
| ダイバーシティ推進委員会                          | 小熊          |
| 角間北地区施設リニューアル検討プロジェクトチーム              | 飯倉          |
| GSC (Global Science Campus) プロジェクト協力員 | Hammond     |

## ■刊行物

- 『初習言語ガイドブック』2025 年度版
- 『EAP Teachers' Guide 2025』
- 『EAP コース説明リーフレット』2025 年度版
- 『言語文化論叢』第 29 号
- 『外国語教育フォーラム』第 19 号

